



ごあいさつ

みなさん、いかがお過ごしですか？

新型コロナウイルスの感染が初めて確認されてから2年が過ぎました。昨年8月の第5波では、感染しても自宅療養せざるを得ない厳しい状況もありました。ようやく落ち着きを見せるかと思いきや、最近の爆発的な感染状況です。

経済は言うに及ばず、暮らしにも大きな影響が出ています。特に子どもたちにとっては、時間や経験がその時々により必要であり、あとからでは補いきれないものがあります。医療体制の充実強化はもちろんのこと、教育、福祉、経済活動への支援についてもしっかりと課題解決に向かうよう県政に関わってまいります。

一見知事による県政が始まっています。10年先を見すえた「強じんな美し国ビジョンみえ（仮称）」とその実現のための計画「みえ元気プラン（仮称）」の策定が進められています。未来を見すえ、誰もが安心して暮らせるよう取り組んでまいります。

みなさんのご意見・ご要望等、お待ちしております。

令和4年度当初予算案について

以下の内容で提案されており、予算決算常任委員会等でしっかりと議論しています。

「強じんな美し国」をめざして

三重を前へ進める過去最大の予算：一般会計／8,194億円

- | | |
|---|---|
| <p>1. 新型コロナウイルス感染症対策のさらなる推進</p> | <p>関連予算／554億円
対前年度比+6億円(+1.0%)</p> |
| <p>2. 危機管理体制の強化と防災・減災、県土の強靱化
災害対応工程管理システムを導入するなど災害即応力を強化など
「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」の計画的な推進</p> | <p>関連予算／518億円
対前年度比+19億円(+3.8%)</p> |
| <p>3. 三重の魅力を生かした観光誘客の推進
観光振興予算を前年度対比で倍増など</p> | <p>関連予算／24億円
対前年度比+12億円(+102%)</p> |
| <p>4. 地域の活力を高める産業づくり
県産品等の販路拡大を支援
水産業:気候変動に対応するため、高水温に強い種苗や新たな養殖技術の開発
成長産業分野、マザー工場化、スマート工場化、等への支援など</p> | <p>関連予算／178億円
対前年度比+6億円(+3.5%)</p> |
| <p>5. すべての子どもの健やかな育ちの保証
待機児童解消に向け、保育士加配に対する補助の拡充など、
保育士確保の強力な推進、ヤングケアラーの実態調査、新たにコーディネーター配置
県立教育支援センター設置に向けた実証研究、SC・SSWの配置拡充(SC:スクールカウンセラー SSW:スクールソーシャルワーカー)</p> | <p>関連予算／102億円
対前年度比+6億円(+6.4%)</p> |
| <p>6. カーボンニュートラルに向けた取組の加速
脱炭素化に向けた取組や四日市コンビナートの競争力強化の支援
県有施設の照明をLED化、再生可能エネルギー調達の施行実施</p> | <p>関連予算／14億円
対前年度比+10億円(+264%)</p> |

一般質問で取り上げました!

1 どう進める? 子ども・子育て支援

Q 育休退園とは、「2人目以降の子どもが生まれ、産前産後休暇中は保育園に預かってもらえるけれど、育児休業に入った段階で、上の子ども（2歳児以下）が保育園退園を余儀なくされること」です。

子どもの思いや声は聞かれている?子どもの最善の利益は尊重されているでしょうか?子育て支援に逆行するのは?

桑名市における2020年度の育休退園者は56人。過去5年間の平均は42人。2022年4月から育休退園制度を廃止するよう制度設計が進んでいます。2020年の三重県の合計特殊出生率は、1.45。目標値である1.80には程遠い状況を改善するには新たな視点が必要では?育休退園の実態把握を県としてすべきでは?

育休退園とは? (下の子 4月30日生まれ 上の子、2歳3か月 ある市での実例)

* 4月半ば(慣れるまでの練習期間含め)~6月30日



* 7月1日~ 2か月の赤ちゃん 2歳5か月



●2人兄弟の場合を想定しましたが、3人兄弟だったらどうでしょう?
例えば、実家を頼れず、父親の帰りが遅く、一番上の子の送り迎えを母親一人でしなければならないとしたら、子育て支援どころではありません!

A 令和2年度中に12市町において、約250人の子どもが保護者の育児休業に伴い退園しています。「育休退園」が生じる主な要因は、保育士の不足です。国の基準により定められた保育士の配置数は、

・3歳児⇒20人に1人以上 ・1~2歳児⇒6人に1人 ・1歳未満児⇒3人に1人

このように低年齢の子どもを預かるのには、より多くの保育士が必要です。保育士確保にさらに注力するとともに、毎年「育休退園」の状況について把握に努め、市町とも情報共有します。

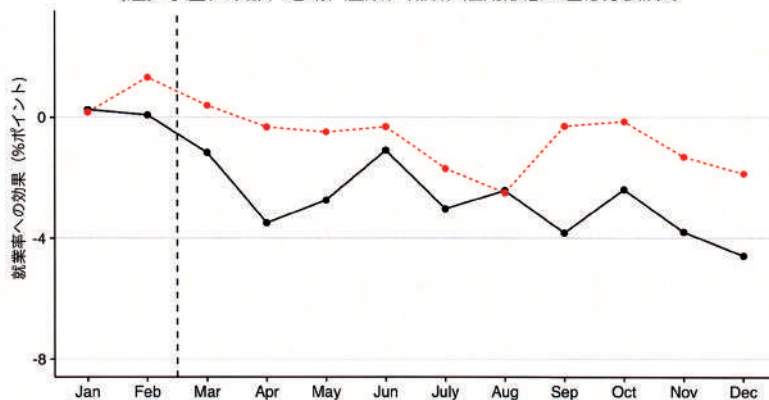
Q 「子育て罰」を解消し、応援を!

全国一斉休校によって、小学生を持つ母親の就業率が最大4ポイント以上低下しています。学歴・年齢・地域・職業・雇用形態の差は除いてあるので、純粹に子どもがいるかどうかによるもの。子育て罰などという負のメッセージを受け続けている子育て中の、特にお母さんに対し、知事からのメッセージを!

参照:「子育て罰『親子に冷たい日本』を変えるには」(末富 芳・桜井啓太 光文社新書)

「休校効果」 子どもがいる人と、いない人での「コロナ禍効果」の差

(注) 学歴、年齢、地域、産業、職業、雇用形態の差は除去済み



→ 末子が未就学または小学生である有配偶女性 - - - 子供のいない有配偶女性

●子育て罰とは?...

チャイルド・ペナルティという学術用語で「子育てしながら働く母親と、子どもを持たない非母親との間に生じる賃金格差を示す経済学・社会学の概念」という意味ですが、本書ではさらに定義を広げ、「日本の再分配政策(税・社会保障制度など)は、子育て世帯に対して機能していない、あるいは状況をむしろ悪化させており、就業や育児を罰している」「社会のあらゆる場面で、まるで子育てすること自体に罰を与えるかのような政治、制度、社会慣行、人々の意識」としています。

※内閣府男女共同参画局 第11回コロナ下の女性への影響と課題に関する研究会

A 「こどもは国の宝、三重の宝」であり、子どもの笑顔があふれ、未来を明るいものとするため、思いやりのある三重を実現する必要があります。具体的対策として、「相談・支援が切れ目なく受けられる環境づくり」「全ての子どもが質の高い幼児教育・保育が受けられるよう、保育士確保、施設整備の支援、保育環境の改善」「学習支援や居場所の拡大など、実効的対策」「男性の育児参画を進め、パートナーとともに育児の実現」「仕事と子育ての両立のため、働き方改革を推進、女性の就労支援」など、子育てを応援する施策を総動員し、様々な主体と「協創」し、あらゆる世代の人々が子育てに関心を持ち、社会全体で子どもを育てていくという機運醸成を図り、子どもを授かったことをありがたいと感じて子育てしていただけるよう、思いやりのある三重の実現にまい進することを決意して子育てをされる方へのメッセージといたします。

小島の思い

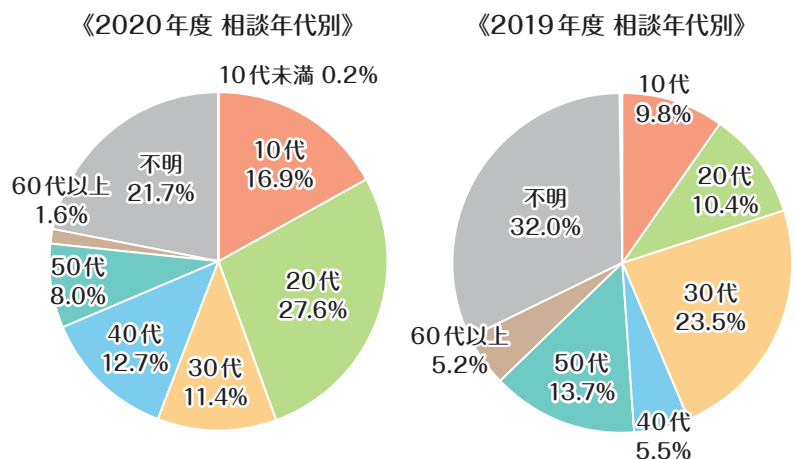


「日本の少子化はもはや単体の政策で効くような状況にない。個々の政策でなく少子化対策のパッケージととらえ、経済的負担を乗り除く必要がある。」と東京大学、山口慎太郎教授は言ってみえます。ただ、教授は財務省財務総合政策研究所でも、「政府による家族関係支出が増えれば、出生率が増える」とデータに基づいて報告しています。しっかりと現状把握をし、具体的に何ができるか踏み出すべきであり、今後も強く施策の推進を求めます。

2 性暴力被害の未然防止と対応について

Q 「みえ性暴力被害者支援センターよりこ」の相談対応の状況と体制は？

A 平成27年度の開設以来、年間300件前後を推移してきたが、令和2年度の相談件数は623件と約2倍に急増。10代の相談件数も105件と3倍以上に増えるなど、性被害相談の若年化の傾向もあります。中学生への周知、SNS相談の開始も増加の要因の一つと考えます。現在は、平日10時～17時、夜間休日は国設置のコールセンターと連携し、24時間365日化。連携協力病院の拡充、さらなる相談・支援体制の整備を進めます。



Q 学校における性被害対応マニュアルの策定を進めるべきでは？

A 「子どもたちを性被害から守りたい!プロジェクト事業」アンケートでは、

- ・指導体制やチームとしての対応マニュアルなどができていない
- ・学校がどのような対応をし、どのように今後の対策を考えればよいか知りたい

といった現場における課題やニーズが寄せられています。

「学校における性被害」に対しては、学校関係者による早期の発見と適切な初期対応に加え、「よりこ」や関係機関が役割分担を行いながら連携した支援体制を立ち上げ、第一に被害者への支援を速やかに途切れることなく行うとともに、加害者への指導等も併せて行っていく必要があります。そのような支援を学校と関係機関とが連携して進めるには、被害対応マニュアルなど共通の指針の作成が重要と考えます。

令和4年度予算案に、マニュアル策定のための予算が計上される!
全国で兵庫県、奈良県について3番目!

他に、「障がい者スポーツの新たな展開を!」として障がい者スポーツについて取組の拡充、組織づくりを求めました。

暮らしに身近な課題への対応強化について

<通学路の交通安全対策>

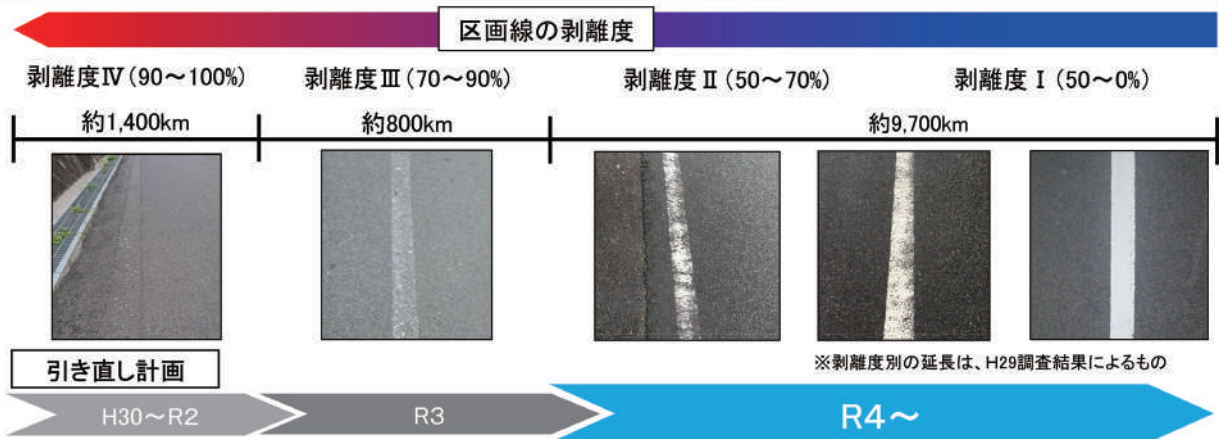
子どもたちが登下校中に交通事故に巻き込まれるという痛ましい事件が後を絶ちません。緊急に点検が行われましたが、対応が必要な場所への早期対策をしています。

	～R2年度	R3年度	R4年度 (R4.1補正含む)	R5年度～	(参考)対策箇所の視点
通学路合同点検※ 要対策箇所 228箇所 (県管理道路分) <small>※千葉県八街市の事故を踏まえてR3.7～10に点検実施</small>		合同点検実施 完成 51箇所 (22%)	完成 +160箇所 (93%)	残り 17箇所 <small>地元調整に時間を要する箇所</small>	<ul style="list-style-type: none"> 見通しのよい道路や幹線道路の抜け道など、車の速度が上がりやすい箇所や大型車の進入が多い箇所 過去にヒヤリハットの事例があった箇所 保護者等から改善要請がある箇所
			↕ 重複38箇所		
通学路交通安全プログラム 要対策箇所 309箇所※ (県管理道路分) <small>※R3.3現在の箇所数</small>	完成 149箇所 (48%)	完成 +84箇所 (75%)	完成 +54箇所 (93%)	残り 22箇所	<ul style="list-style-type: none"> 道路が狭い 見通しが悪い 人通りが少ない 人が身を隠しやすい場所が近い 大型車が頻繁に通る

<路面表示の改善>

道路の区画線が消えかけている、見にくいといった声を多くいただきます。県土整備部を中心に引き直し計画を立て進めています。

○ R3年度内に剥離度Ⅲの引き直しを完了。R4年度以降、剥離度Ⅱ以内の定常化をめざす



ご意見・ご要望等、お待ちしております。

小島とも子事務所

〒511-0068 桑名市中央町4-44 ウインズビル3F
 Tel.0594-25-8182 Fax.0594-25-8183
 HP <http://kojima-tomoko.com> E-mail tomokokjm@gmail.com



活動の様子

地元の行事や、グループの集まりなど、是非お声がけください。



一般質問の日に



茶社タツさんと。伊勢茶を飲みつ!



在職10年で表彰されました。新政みえの同期と。



子ども虐待防止フォーラムにて。



三重県議会議員の政治倫理に関する検討プロジェクト会議。座長をしています。